



学校教育目標 かしく・やさしく・たくましく



おいちよう

富士見市立鶴瀬小学校

令和8年7月17日 学校だより NO. 5

校長 石井 勝博



夏休みだからこそできる体験を！

令和8年度1学期、保護者・地域の皆様、学校へのご支援・ご協力、大変ありがとうございました。心から感謝申し上げます。運動会や学校公開等でいただいたご意見を真摯に受け止め、子供たちが光り輝き、保護者、地域の方が「鶴瀬小でよかった！」とと思っていただけるように今後も改善に努めて参ります。

さて、子供たちは、この4か月で大きく成長しました。一人ひとりの成長は、先日行われた個人面談で各担任よりお話をいただきましたが、終業式当日、担任から渡される「あゆみ」にも記されています。ご家庭でお子さんと一緒に「あゆみ」を見ながら、1学期を振り返り、お子さんが見せた「がんばり」や「努力」を褒めていただければと思います。よろしく願いいたします。

明日18日から夏休みとなります。この夏休みだからこそできることにチャレンジし、たくさんの思い出を作っていただきたいと思います。

2学期の始業式に元気な姿で子供たちとお会いできるのを楽しみにしています。

【6月のお話朝会で話した「私が先生になった理由」について掲載させていただきます】

先生になった理由の1つについてお話しします。

それは、「考えること」についてお話をします。

校長先生は子供のころ野球をやっていました。一生懸命練習をしました。でも、うまくなりませんでした。

大人になり、なぜ、うまくならなかつたのかがわかりました。それは、「『考えること』が足りなかつたことだ」とわかりました。

ただただ夢中にやっているだけで、考えていなかったのだとわかりました。

「考える」とは何か。いくつか例を挙げてみます。

ただただ書くだけでは漢字を覚えることはできません。覚えようと意識し、考えて書くことにより覚えることができるようになります。

ただただ大きな声で歌っていたのでは上手に歌えません。情景を頭に浮かべたり、どこに声を届けたいのかを考えたりしながら歌うことによって素敵な歌声になります。

ただただ走っていたのでは速く走ることはできません。速く走るためにはどうしたらよいのか、腕を振って走ろう、腿を上げて走ってみようと考えることによって、少しずつ速く走ることができるようになります。

校長先生は、ただただ野球をやっていた。もっとうまくなるためにどうしたらよいのかを考えていなかった。もっともっとうまくなるために考えればよかったと大きくなってから気づきました。

そこで、鶴瀬小学校のみんなには、校長先生が子供のころできなかった「考えること」を大切に努力してほしいと思います。

自分がチャレンジしていることに対して、少し立ち止まり、もっとうまくなるためにどうしたらよいか「考えること」を大切にしてみてください。

「考えること」を大切に、いろいろなことにチャレンジしてみましょう。

「考えること」によって、ただただやっていることが、少しうまくなるかもしれません。楽しくなるかもしれません。「考えること」を大切にしてみてください。